

授業科目名 科目コード	中国語 I B (Chinese) 2011-0-12-014					担当教員	白 雪晴 (バイ ショエチン)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択必修	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	通年
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>国際化を鑑み、隣国である中国の文化への理解と教養を養い、そのために、言語の基本を学ぶこととともに、中国への理解に努める。</p> <p>中国語がどのような言語であるのか、発音の基礎、簡単な決まり文句、挨拶などの日常会話、自己紹介などを学ぶ。また、動詞、目的語や時を表す名詞の位置などの基本的な語順についても学ぶ。具体的には、キレイな中国語の発音ができ、文章はピンインなくても読め、慣用句的な文法を理解したうえで、ある程度の長い文章が書けるようになる。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>隣国を理解することによって、日本の地域社会に貢献できる人材を目指す。</p> <p>コミュニケーション能力</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>講師の発音指導、説明を主とし、CD も毎回聞き補充手段にする。板書、配布印刷物、視聴覚メディア等を活用する。中国語が話せるため、試行錯誤をしていく。提出物、作文の作成練習もある。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
なし									
⑤ テキスト (教科書)									
楊凱栄、張麗群 (2015) 『LOVE! 上海 初級中国語 (第 1 版)』朝日出版									
⑥ 参考図書・指定図書									
<p>教材についている CD を、繰り返し聞き、復習をすることが一番肝心。月刊誌「人民中国」などを参考として読むことが望ましい。ニュースでの中国に関する内容に注目してほしい。</p>									
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安									
<p>(i) 学生が文法を大抵把握でき、文章訳も通じる程度に達す。</p> <p>(ii) 学生が中国語の順番をほとんどわかる。漢字も正確に書ける。</p> <p>(iii) 学生が、ピンインをほぼ読める。</p>									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i)	学生が文法を把握でき、日中、中日翻訳ともできる。	学生が文法を大抵把握でき、文章訳も通じる程度に達す。	学生が文法の60%を覚え、文章の半分以上訳せる。	学生が文法を半分程度に覚え、翻訳能力は50%に達する。	学生が文法への把握は半分以下。
(ii)	学生が、中国語と日本語の違いを明確し、文章の順番を正確にわかる。	学生が中国語の順番をほとんどわかる。漢字も正確に書ける。	学生が中国語の順番への把握はほぼできる。	学生が中国語の順番の肝心な部分がわかる。	学生が中国語の順番の正確さは、半分以下。
(iii)	学生が、発音記号のピンインを正確に発音ができる。	学生が、ピンインをほぼ読める。	学生がピンインの発音の正確さは80%。	学生が、ピンインの半分以上は発音ができる。	学生が、自分で発音ができる具合は50%以下。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%				30%		100%
(i) 正確的に読む	20%	10%				10%		40%
(ii) しっかり書く	20%	10%				10%		40%
(iii) 小作文を書く	10%					10%		20%
フィードバックの方法	提出物は添削して返却し、解説の時間も設ける。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
小テストを増やし、常に自分の勉強状況を把握できるようにする。 小作文の練習時間を設け、繰り返し練習することによって、中国語を自分のものにする。

⑪ 授業計画と学習課題		
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）
1	中国という国、中国語の特徴、発音記号のピンインを紹介する、声調、単母音を覚える。学生の名前の中国語読みの練習。	授業内容を復習 120分

2	子音、複母音の一部、中国のメーカー、練習問題	CDで授業内容の復習	120分
3	複母音の一部、ピンインの表の発音練習、中国の「6・1 児童節」、練習問題	CDで授業内容の復習、提出物を確認	120分
4	ピンインの表の発音練習、第1課「吗」疑問文を中心とする、「7・1 中国の共産党の誕生日」、練習問題	CDで授業内容の復習、提出物を確認	140分
5	ピンインの表の発音練習、第2課疑問詞疑問文を中心とする、中国の「端午の節句」、練習問題	CDで授業内容の復習、ネットで中国に関する検索	140分
6	ピンイン一覧表の発音練習、第3課動詞の「在」及び量詞、中国に関するコロナ事情、練習問題	CDで授業内容の復習、ネットで中国に関する検索	160分
7	小テスト、ピンインの表の発音練習、第4課動詞の「有」及び家族の言い方、講師の故郷紹介、練習問題	中国語の入力練習	160分
8	ピンイン一覧表の発音練習、第5課副詞の「不」「都」を中心とし、中国の今の出来事、練習問題	CDで授業内容の復習、中国語での入力の確認と練習	180分
9	第6課形容詞述語文を中心とし、中国の「9・10 教師の日」、練習問題	CDで授業内容の復習、中国に関する現状へのネット検索	180分
10	第7課正反疑問文及び名詞述語文、「10・1 国慶節」、練習問題	くり返し中国語での入力練習	180分
11	小テスト、第8課副詞の「不」「都」を中心とし、「旧暦の祝日と新暦の祝日」、練習問題	CDで授業内容の復習、中国の流行語へのネット検索	200分
12	第9課副詞の「还」及び連動文、中国の若者の生活、小作文	CDで授業内容の復習、中国の若者文化へのネット検索	200分
13	中国語映画『初恋にきた道』	映画で聞き取れた単語の整理	120分
14	第10課助動詞「会」及び主題文など、中国の「11・11 独身の日」、練習問題	CDで授業内容の復習	120分
15	試験対策	各自復習	240分
16	復習課、1～10課のまとめ、中国のクリスマス、練習問題	各自の復習	120分
17	第11課副詞の「有点儿」及び前置詞の「离」、「3・8 婦女の日」、練習問題	CDで授業内容の復習、各自中国について関心の課題にネット調べ。	120分
18	第12課存現文、比較する表現、中国人はなぜギョウザを食べるのか、練習問題	CDでの復習、各自中国について関心の課題にネット調べ	140分
19	第13課値段の言い方及び副詞の「再」、中国の一人っ子政策とその後、練習問題	CDで授業内容の復習	140分

20	小テスト、第 14 課結果補語、副詞の「才」「就」、練習問題	CD での復習	160 分
21	第 15 課方向補語及び離合詞、中国で人気の職業、練習問題	CD での復習	160 分
22	第 14 課と第 15 課の復習とまとめ、動詞の補語についてももう一度考える、小作文	提出物をまとめる	180 分
23	第 16 課主述述語文、二重目的語、京劇の話し、練習問題	CD での復習、教材に出た中国のことについて調べる	180 分
24	第 16 課主述述語文、二重目的語、京劇の話し、練習問題	CD での復習、補語について各自で調べる。	200 分
25	第 17 課方向補語その二、兼語文、中国での日本料理	補語について各自で調べる。	200 分
26	小テスト、第 18 課前置詞「跟」、接続詞「而」、小作文	各自復習	220 分
27	中国映画『あの子を探して』	映画で聞き取れた中国語の整理	120 分
28	映画の続きを見る、中国の教育事情、映画事情など	各自の復習、試験への準備	120 分
29	第 19 課様態補語を中心とする、中国の「春節」、大量の練習問題	CD での復習、練習問題を確認や整理	200 分
30	試験対策	試験への準備	240 分

⑫ アクティブラーニングについて

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性